

1. 実務者プログラム事例研究セミナー

日	時間	プログラム名	講師等	会場	内容
10/18 (火)	17:00-17:55	オリエンテーション	辻 琢也 一橋大学大学院法学研究科 教授	奈良ロイヤルホテル 2F 「鳳凰の間」	実務者プログラムのスケジュールの確認と、各プログラムの内容、進行について説明。
	18:00-18:45	オープントーク	発表者 2名 韓国 忠清南道 洪萬杓 中国 山東省 趙 東波		実務者プログラム参加者の中から、発表希望者を募り、発表者が持ち寄ったテーマで自由な意見交換を行い、参加者同士の理解を深めた。
10/19 (水)	9:30-12:00	セッションI 講義：東アジア経済の動向と課題	日本貿易振興機構 (JETRO) 海外調査部 中国北アジア課 課長 真家 陽一 アジア大洋州課長 若松 勇 国際経済研究課 課長代理 山田 良平	奈良ロイヤルホテル 2F 「鳳凰の間」	東アジア諸国の経済状況の基礎知識を習得。 講義内容： ・中国、韓国の経済状況および日本との貿易投資関係（真家氏） ・インド、フィリピン、ベトナム、インドネシアの経済概況（若松氏） ・東アジアの経済、貿易、FTA～「ジェトロ世界貿易投資報告」2011年版から～（山田氏）
	13:00-16:30	セッションI（継） 講義：東アジアの地方自治	井川 博 政策研究大学院大学 教授		東アジア諸国の地方自治制度の基礎知識を習得。 講義内容： ・日本の地方自治制度 ・東アジア各国の地方自治 ・東アジア各国における地方制度（分権）改革と地方自治の課題
10/20 (木)	9:30-10:45	基調講演 新しい公共空間の形成と地方政府の役割～超高齢大国・日本における政府間関係～	辻 琢也 一橋大学大学院法学研究科 教授	奈良ロイヤルホテル 2F 「鳳凰の間」	テーマ設定の背景、問題点などの説明。 講義内容： ・現代日本の中央・地方政府関係 ・新しい公共空間における地域経営 ・少子高齢化と政府財政 ・地方分権と地域主権 ・市町村合併と広域行政 ・道州制
	11:00-16:50	セッションII 事例研究：観光	清水 慎一 立教大学観光学部特任教授		講師による講義と地方政府からの事例発表、発表を受けての質疑応答。 講義内容： ・「大交流時代」の到来 ・観光立国宣言 ・「大交流時代」、「観光立国」の効果を上げるために 一地方政府の役割 について
10/21 (金)	10:00-12:00	フィールドワーク	田原 勝則 橿原市今井まちなみ保存整備事務所長	橿原市今井町	奈良県内の事例を見学し、参加者の奈良県事例に関する理解を深めた。 ・今井町の説明まちなみ散策 ・館内の見学、展示物について、奈良と東アジアのゆかりを含めた解説。
	14:20-15:40		加藤 真二 飛鳥資料館 学芸室長	飛鳥資料館	
10/22 (土)	9:00-14:50	セッションIII 事例研究：まちづくり	大杉 覚 首都大学東京大学院社会科学研究科 教授	奈良県新公会堂 2F 「レセプションホール」	講師による講義と地方政府からの事例発表、発表を受けての質疑応答。 講義内容： ・それぞれの地域が秘めている可能性や強みを今一度見つめ直し、それを「地域資源」として活用すべきこと、そのための人材発掘や人材育成、域内及び地域間交流を促すしくみづくりに焦点を当てたまちづくりを展開していくべきことを、具体的な事例を取り上げつつ、再確認した。



## 第2回東アジア地方政府会合プログラム

2011年10月18日(火)-26日(水)

日	時間	プログラム名	講師等	会場	内容
10/22 (土)	15:30-17:00	アスペンレクチャーI	村上 陽一郎 東洋英和女学院大学 学長 (日本アスペン研究所副理事長)	奈良県新公会堂2F 「レセプションホール」	日本アスペン研究所と連携し、普遍的な知や価値を基礎とするリーダーシップを学ぶ機会を設けた。 テーマ:「地域課題のソリューションと地方政府」 講義内容: ・アスペン精神について ・科学・技術を巡る問題について ・生活者の意志決定への参画について
	17:30-18:30	文化プログラム	金春流 シテ 佐藤 俊之 ワキ 広谷 和夫 笛 相原 一彦 小鼓 荒木 建作 大鼓 森山 泰幸 太鼓 前川 光長	奈良県新公会堂 1F 「能楽ホール」	NPO 法人奈良能による日本の伝統芸能「能」についての解説、能面体験、金春流「羽衣」を鑑賞。実務者プログラム参加者のほかに、奈良県内の高校、大学に在籍する留学生を招待し、日本文化に触れる機会を創設。
10/23 (日)	9:00-14:50	セッションIV 事例研究:文化財保護	西村 幸夫 東京大学大学院工学系研究科 教授	奈良ロイヤルホテル 2F 「鳳凰の間」	講師による講義と地方政府からの事例発表、発表を受けての質疑応答。 講義内容: ・日本において「文化財」という発想はどのようにして生まれたのか ・なぜ文化財は守らなければいけないのか ・東アジアの文化財の置かれた状況
	15:30-17:00	アスペンレクチャーII	猪木 武徳 国際日本文化研究センター所長 (日本アスペン研究所理事)		日本アスペン研究所と連携し、普遍的な知や価値を基礎とするリーダーシップを学ぶ機会を設けた。 テーマ:「地方分権論の思想的背景」 ・中央集権化の二つの意味について ・福澤諭吉の『分権論』及び人間の尊厳と人民主権について ・補完性の原則について
10/24 (月)	9:30-10:30	クロージングセッション	辻 琢也 一橋大学大学院法学研究科 教授	奈良ロイヤルホテル 2F 「鳳凰の間」	講師の講評を紹介しながら、セミナーを振り返るとともに、参加者の意見交換を行った。
	12:00-14:00	第2回東アジア地方政府会合・日本アスペン シンポジウム	【モデレーター】 本間長世 東京大学名誉教授 (日本アスペン研究所副理事長)  【パネラー】 村上 陽一郎 東洋英和女学院大学 学長 (日本アスペン研究所副理事長)  猪木 武徳 国際日本文化研究センター所長 (日本アスペン研究所理事)  辻 琢也 一橋大学大学院法学研究科 教授  荒井 正吾 奈良県知事	奈良ロイヤルホテル 2F 「鳳凰の間」	テーマ:地方政府の新たな役割~必要とされるリーダーシップとは~ 様々な分野でグローバル化が進む中、地域課題の解決に必要な地方政府、住民、企業のリーダーシップについて議論を交わした。



## 第2回東アジア地方政府会合プログラム

2011年10月18日(火)-26日(水)

### 2. 首長プログラム

日	時間	プログラム名	講師等	会場	内容
10/24 (月)	9:00-10:30 14:45-18:00	バイ会談		ホテル日航奈良5F 「百合の間」 等	奈良県知事と各地方政府の団長、参加各地方政府団長同士の会談
	19:30-21:00	ウェルカムパーティー		奈良県新公会堂2F 「レセプションホール」	参加地方政府、総領事館が参加した来県歓迎のパーティー
10/25 (火)	9:00-12:00	首長グループ討議 1  【講師】 石原 信雄 (財) 地方自治研究機構会長 村井嘉浩 宮城県知事 田村圭子 新潟大学危機管理室教授  テーマ: 危機管理	【全体コーディネーター】 石原 信雄 (財) 地方自治研究機構会長 【講師】 村井嘉浩 宮城県知事 田村圭子 新潟大学危機管理室教授	ホテル日航奈良4F 「飛天の間」	危機管理について、事前に配布したエスノグラフィーを読み、講師からの講演を踏まえた上での地方政府団長の政策判断や政策決定について、グループに分かれて討議した。 討議内容については、グループごとに意見を取りまとめ、最後に発表し、参加者の相互学習の場を創設。
	12:00-12:45	昼食		ホテル日航奈良5F 「天空の間」 等	
	13:00-15:30	首長グループ討議 2  【発表者】 石原 信雄 (財) 地方自治研究機構会長 荒井 正吾 奈良県知事  テーマ: 地域振興	【全体コーディネーター・講師】 石原 信雄 (財) 地方自治研究機構会長 【発表者】 荒井 正吾 奈良県知事	ホテル日航奈良4F 「飛天の間」	地域振興について、講師からの講演を踏まえた上での地方政府団長の政策判断や政策決定についてグループに分かれて討議した。 討議内容については、グループごとに意見を取りまとめ、最後に発表し、参加者の相互学習の場を創設。
	16:20-17:05	全体会議  【議長】 荒井 正吾 奈良県知事		なら100年会館 大ホール	・参加者の紹介 ・新規加盟政府の承認 ・事業報告 ・第2回東アジア地方政府会合共同声明の採択 ・第3回東アジア地方政府会合について
	17:20-18:30	記者会見・記念撮影		なら100年会館 中ホール	・参加地方政府、総領事、外務省特命全権大使が一堂に会しての記念撮影 ・会合についての記者への説明 ・各国代表者、参加首長・副首長、総領事、外務省特命全権大使のスピーチ
	19:30-21:00	知事招宴(レセプション)		ホテル日航奈良4F 「飛天の間」	参加地方政府、総領事館の他に国会議員、県会議員、関西・奈良県の経済団体などをお招きし、各団体との交流の機会を創設するため、知事主催の招宴を開催。
	10/26 (水)	エクスカーション		奈良県内各所 ・文化コース(唐招提寺、東大寺(大仏殿、東大寺ミュージアム)等) ・環境対策コース(県浄化センター、クリーンセンター広陵等)	左記、2コースに分かれて奈良県内を視察することにより、奈良県の対策への理解を深める。 ・奈良県内の文化に触れていただくために、奈良を代用する寺院等を見学。 ・環境対策コースにおいて、奈良県内の環境配慮に対する状況を視察。